

米軍基地環境カルテ

津堅島訓練場（施設番号：FAC6082）

沖 縄 県

改訂履歴

版数	発行年月	改訂内容
第1版	平成29年3月	初版発行
第2版	令和4年3月	「沖縄の米軍基地（平成30年12月沖縄県）」の内容を反映させた改訂。

目次

80. 津堅島訓練場（施設番号：FAC6082）	1
80.1 基本情報	1
80.1.1 名称	1
80.1.2 所在地、広さ（施設面積）	1
80.1.3 施設の概要等	2
80.1.4 施設の管理及び用途	2
80.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	2
80.1.6 土地利用規制図	2
80.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	3
80.2.1 基地等の土地の状況	3
80.2.1.1 地形分類図	3
80.2.1.2 表層地質図	3
80.2.1.3 土壌図	3
80.2.1.4 切盛土分布図	3
80.2.2 基地内の施設の使用状況	3
80.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	3
80.2.2.2 施設等使用履歴	3
80.3 基地等の環境状況	3
80.3.1 自然環境（植物）	3
80.3.1.1 現存植生図	3
80.3.1.2 植生自然度図	3
80.3.1.3 特定植物群落	4
80.3.1.4 重要な種、貴重な種等	4
80.3.2 自然環境（動物）	4
80.3.2.1 重要な種、貴重な種等	4
80.3.3 水利用状況	5
80.3.3.1 水利用状況	5
80.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	6
80.3.3.3 河川及びダムの分布状況	7
80.3.4 地下水の状況	7
80.3.4.1 地下水基盤面等高線図	7
80.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	7
80.4.1 事故等の概要	7
80.4.2 事故等発生場所	8
80.5 環境調査を実施する場合の留意事項	8
80.6 その他情報	8

80.7 環境等に関する通常監視について	8
----------------------------	---

80. 津堅島訓練場（施設番号：FAC6082）

80.1 基本情報

80.1.1 名称

津堅島訓練場（施設番号：FAC6082）

80.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：勝連村字津堅

広 さ：約24,300 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照

<平成25年3月末現在>

所在地：うるま市（勝連津堅）

広 さ：16 千m²

地主数：国有地

駐留軍従業員数：一人

出典：沖縄県ホームページ「FAC6082 津堅島訓練場」

（<http://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kichitai/1234.html>、平成29年1月10日閲覧）より引用

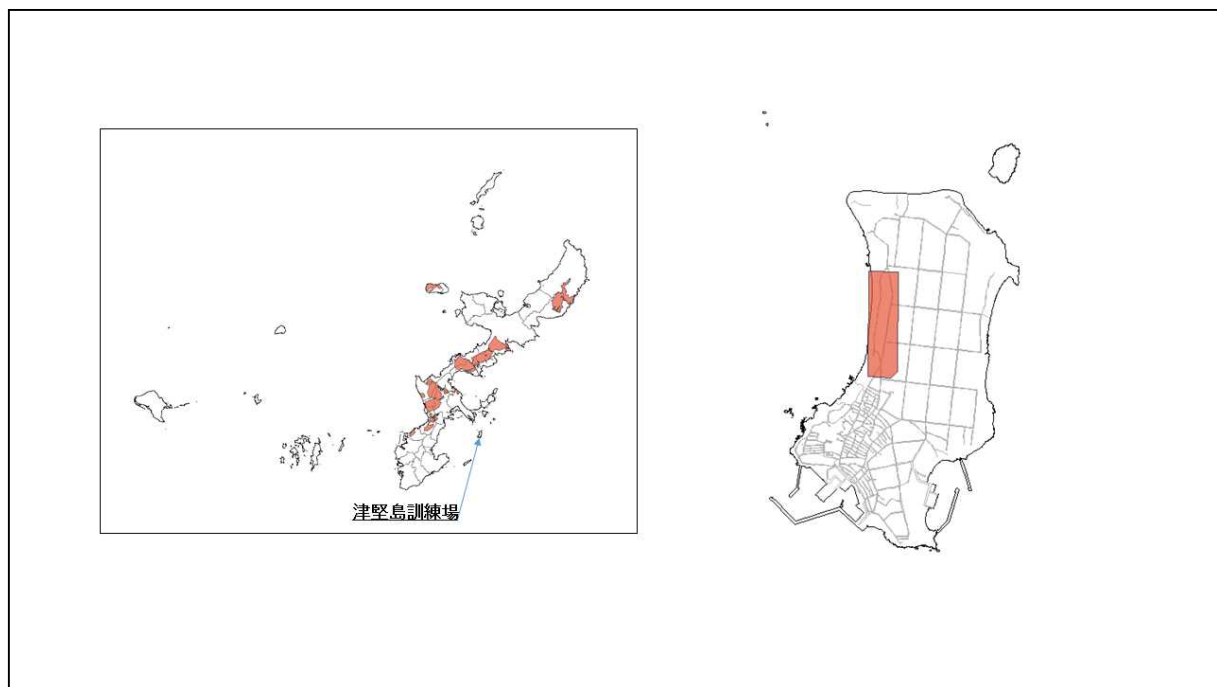


図 80-1 津堅島訓練場の位置図（平成28年時）



出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

図 80-2 津堅島訓練場の航空写真

80.1.3 施設の概要等

津堅島訓練場は通称「泊浜」と呼ばれ、うるま市勝連津堅島の西側に位置する長さ約 2 キロメートルの海岸で、干潟を含む約 6 キロメートル沖合までが訓練水域となっており、海兵隊、空軍等により、水陸両用の上陸訓練、空挺訓練及び救難訓練に使用されている。

演習は陸上あるいは水域のみ、または、陸上・水域同時に行われる。訓練中であっても使用を妨げない限り、漁業または船舶の航行に制限はない。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

80.1.4 施設の管理及び用途

管理部隊名：海兵隊キャンプ・バトラー基地司令部

使用部隊名：海兵隊、空軍

使用主目的：訓練場

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

80.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

<返還計画>

なし。

<跡地利用計画>

津堅一帯は、沖縄県トロピカルリゾート構想の重点整備区に指定されていることから、勝連町（当時）では、跡地の自然環境の保全・育成を図るとともに、その恵まれた自然環境を生かして、平成 9 年 4 月に遊歩道・キャンプ場・展望台等で構成された「キャロット愛ランド」が整備されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

80.1.6 土地利用規制図

津堅島訓練場及び周辺の土地利用規制図を図面集「[土地利用規制図D](#)」に示す。

80.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

80.2.1 基地等の土地の状況

80.2.1.1 地形分類図

津堅島訓練場及び周辺の地形分類図を図面集「[地形分類図D](#)」に示す。

80.2.1.2 表層地質図

津堅島訓練場及び周辺の表層地質図を図面集「[表層地質図D](#)」に示す。

80.2.1.3 土壌図

津堅島訓練場及び周辺の土壌図を図面集「[土壌図D](#)」に示す。

80.2.1.4 切盛土分布図

津堅島訓練場の切盛土分布図は作成されていない。

80.2.2 基地内の施設の使用状況

80.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

津堅島訓練場の施設配置図は確認できなかった。

80.2.2.2 施設等使用履歴

昭和 20 年 2 月	米軍に占領され、主に娯楽施設として使用される。
昭和 34 年 3 月 27 日	使用開始。
昭和 47 年 5 月 15 日	「津堅島訓練場」として提供開始（使用主目的：訓練場）。
平成 9 年 12 月 18 日	日常的に定期船や漁船等が航行する水域(津堅島訓練場水域内)にて、空軍及び陸軍によるパラシュート降下訓練が実施され、船舶の乗組員をはじめ、県民に大きな不安を与えた。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：－

工作物：諸標

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

80.3 基地等の環境状況

80.3.1 自然環境（植物）

80.3.1.1 現存植生図

津堅島訓練場及び周辺の現存植生図を図面集「[現存植生図D](#)」に示す。

80.3.1.2 植生自然度図

津堅島訓練場及び周辺の植生自然度図を図面集「[植生自然度図D](#)」に示す。

80.3.1.3 特定植物群落

津堅島訓練場及び周辺の特定植物群落を表 80-1 に示す。津堅島訓練場及び周辺の特定植物群落として「クボウ城のタブノキ群落」がある。

表 80-1 津堅島訓練場及び周辺の特定植物群落

No.	名称	選定基準	相観区分	備考
1	クボウ城のタブノキ群落	E	亜熱帯常緑広葉高木林	

◆ 特定植物群落の選定基準は以下のとおり。

A：原生林もしくはそれに近い自然林

B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群

C：比較的普通にみられるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地にみられる植物群落または個体群

D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群

H：その他学術上重要な植物群落または個体群

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

80.3.1.4 重要な種、貴重な種等

津堅島訓練場及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）を表 80-2 に示す。津堅島訓練場及び周辺のうるま市指定天然記念物として「クボウグスクの植物群落」がある。

表 80-2 津堅島訓練場及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）

No.	名称	所在地	区分
1	クボウグスクの植物群落	勝連津堅	うるま市指定天然記念物

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

80.3.2 自然環境（動物）

80.3.2.1 重要な種、貴重な種等

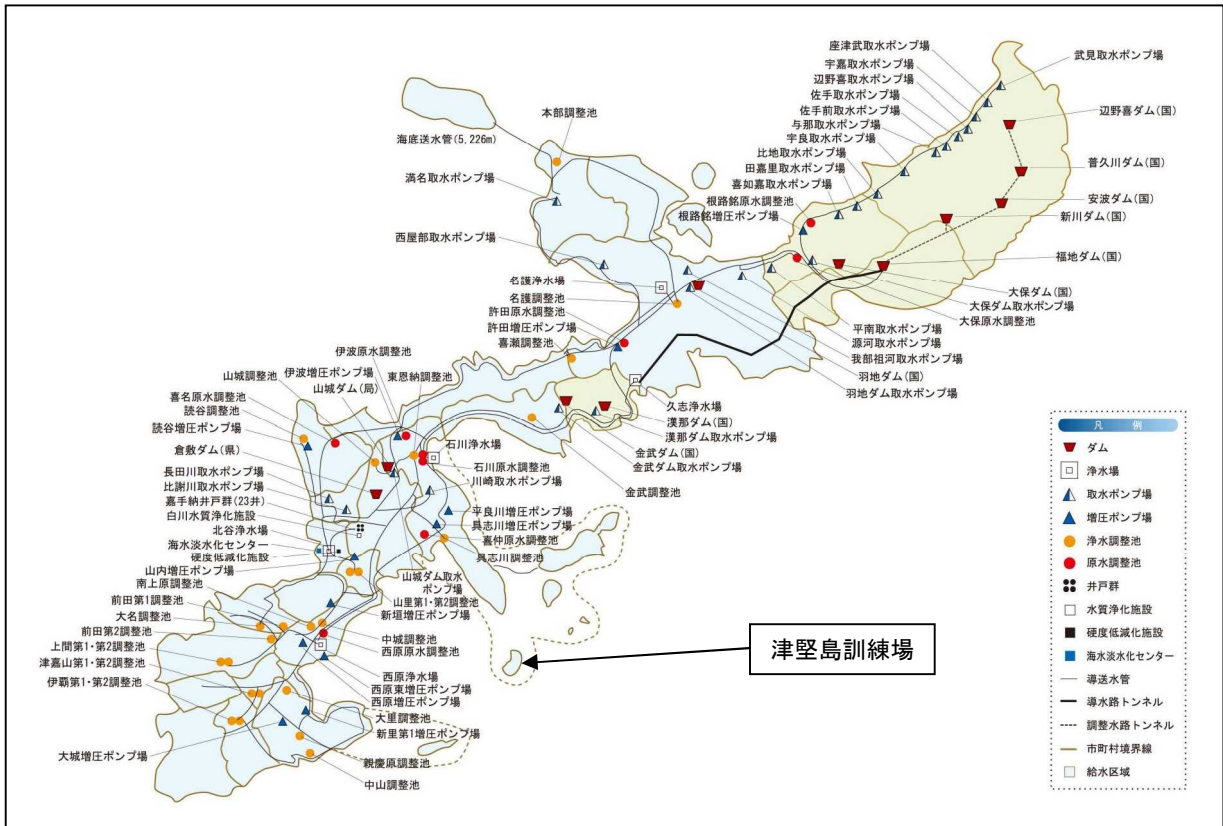
津堅島訓練場のあるうるま市で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は 46 種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針 [沖縄島周辺諸島及び大東諸島編]」（平成 12 年 3 月、沖縄県文化環境部自然保護課）を参照

80.3.3 水利用状況

80.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 80-3 に示す。

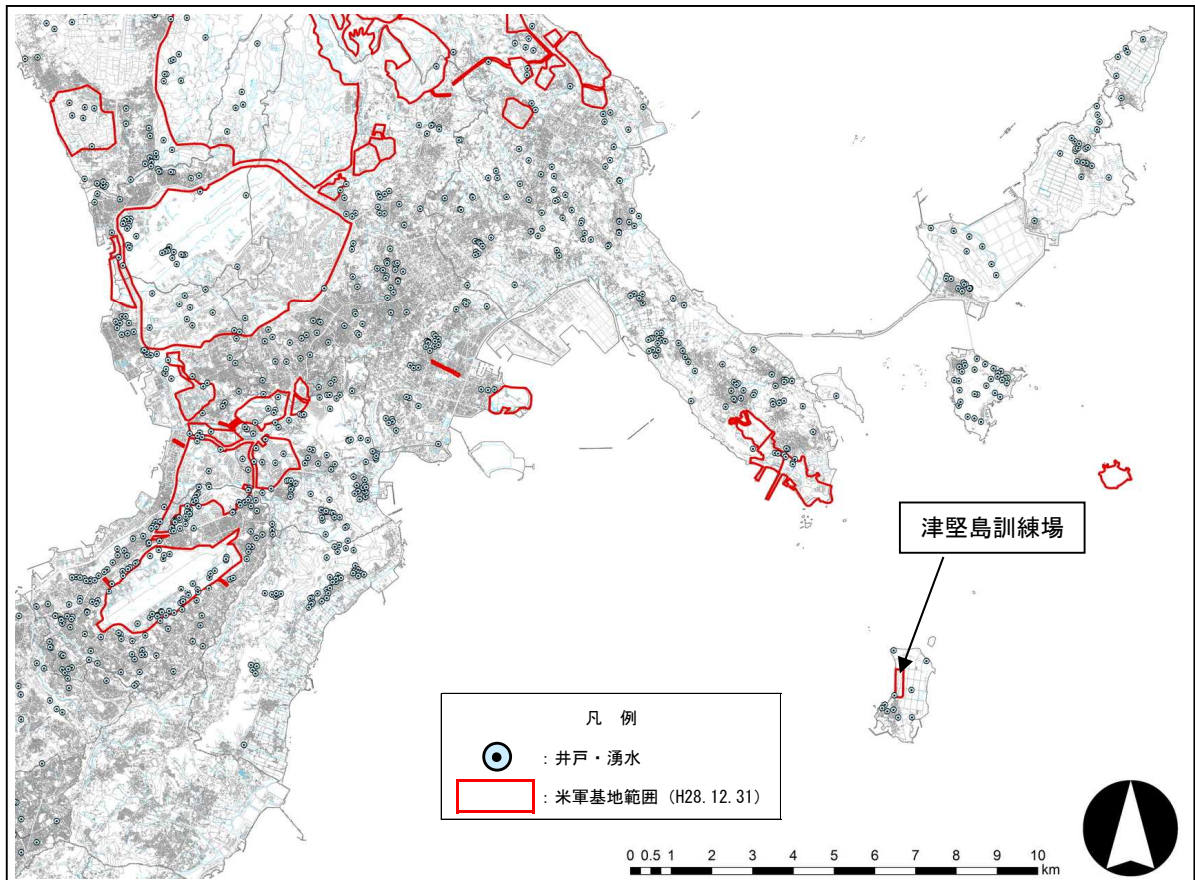


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 80-3 沖縄島及び周辺の水利用状況

80.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

津堅島訓練場及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 80-4 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平成29情使、第269号)」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 80-4 津堅島訓練場及び周辺の井戸・湧水分布状況

80.3.3.3 河川及びダムの分布状況

津堅島訓練場及び周辺の河川、ダム分布状況を図 80-5 に示す。津堅島訓練場及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
出典：「国土地理院地図（平成29年3月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
「沖縄防衛局管内防衛施設図（米軍基地範囲）」（平成28年12月31日現在、沖縄防衛局）を参照
図 80-5 津堅島訓練場及び周辺の河川、ダム分布状況

80.3.4 地下水の状況

80.3.4.1 地下水基盤面等高線図

津堅島訓練場及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「[地下水基盤面等高線図D](#)」に示す。

80.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

80.4.1 事故等の概要

津堅島訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

80.4.2 事故等発生場所

津堅島訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

80.5 環境調査を実施する場合の留意事項

津堅島訓練場において、基地内施設の使用状況及び配置等の基礎的な情報が詳細に把握できていないことから、当該施設の使用状況を踏まえて、環境調査の際には下記の事項に留意する。

- 1 演習場として使用されているため、実施された訓練の内容や使用弾薬等の情報を正確に把握し、調査計画立案に反映させる必要がある。
- 2 演習場内には不発弾の存在が懸念されることから、環境調査を実施する前に安全性を確認する必要がある。

80.6 その他情報

特になし。

80.7 環境等に関する通常監視について

津堅島訓練場及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていない。

出典：「昭和51年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和53～平成16年版 環境白書（昭和52～平成15年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成16～26年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照